１９７７年１２月３日第３種郵便物認可(毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行) ２０１０年７月２９日発行ＳＳＫＰ増刊通巻４４９６号はばたけだよりNO. １１１

SSKP はばたけだより vol.111

編集 社会福祉法人おおぞら会 アクティビティセンターはばたけ
編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎３－１７－９
TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274
URL http://habatake.jp/

後援会総会が行われました！

写真左：もちつき会・写真右上：バルーンアート・写真右下：懇親会にて

ご参加の皆様、ありがとうございました。

≪おおぞら会後援会総会≫ 場所：はばたけ食堂

5 月 29 日（土）に、おおぞら会後援会総会が行われました。

今年度の活動計画案では、従来の活動に加えて「おおぞら会を支える千人会」を立ち上げるという方針が新たに打ち出されました。これは、今後の新規事業や大規模な施設の修繕などに対して、使途を明確にした寄付を募る活動を行なっていくというものです。この方針を含む 10 提案が総会参加者によって承認されました。

また、総会後の懇親会では恒例のもちつき会でついたお餅を食べたり、バルーンアートの方々によるパフォーマンスやバルーン体験などで和やかな時間を過ごしました。今後も法人の活動へのご支援ご協力をお願いします！

ゲストのバルーンアートの方と一緒に。
ご参加ありがとうございました。

１９７７年１２月３日第３種郵便物認可（毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行）２０１０年７月２９日発行ＳＳＫＰ増刊通巻４４９６号はばたけだよりＮＯ．１１１

新事業への道・・・理念とともに、スタートです！

社会福祉法人おおぞら会は、平成 23 年度8月開設をめざし、新たな事業を展開します

＊「はばたけに入りたい」と待機している人たちや利用者の活動の場を広げるための**障がい者通所施設**
＊生涯を地域で暮らしたいと願う人たち（障がいのある人もない人も）の**高齢者小規模多機能型居宅介護事業所**

この度、おおぞら会の新事業として、「障がい者の働く場」「高齢者の在宅生活支援」という2つの機能をもった施設を三鷹市野崎に建設することになりました。事業の内容をしっかり煮詰めていくと同時に、新しい建物の建設、利用する人の公募、働く人の確保…とこれから1年の間でめまぐるしく計画が進みます。そこで、この事業計画を機に、おおぞら会全体で目標に向かっていけるよう、あらためて法人の理念をまとめました。暮らしている人たちみんなの心が豊かになる地域づくりのために、社会福祉法人として何を大切に、どこを目指すのか…職員や支えてくれる皆さんで言葉を出し合い、再確認をしていきできた理念です。ぜひ、ひとりでも多くの皆さんに私たちの思いを知っていただき、応援いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。（次号より随時、進行状況のご報告をしていきます。）

おおぞら会の大切にしたいこと（理念）

１．　こころをかたちにしよう。ともにトライ！一人ひとりの「やってみたい！」

～私たちは、一人ひとりの「やってみたい」を手がかりに、ともに「楽しい」体験をたくさんつくっていきたい～

人は誰でも、自分の気持ちや思いを表す力をもっています。そして表現することは、人が人と関わる時の基本です。自分の気持ちを伝えたくなるような楽しい体験を一緒につくっていきます。

２．　つながること 支えあうこと　それが私たちの原動力

～私たちは、生きる原動力となるような人と人のつながりを大切にしていきたい～

毎日の暮らしや新たな挑戦には困難がつきものです。でも、その辛さを分かち合ってくれる人がいれば乗り越えられます。そして「私も誰かの支えになっている」と思えれば新たな力も湧いてきます。

３．　地域でつくろう「お互いさま」と笑顔のくらし

～地域の中で「お互いさま」の輪をたくさんつくっていきたい。ふだん着の支えあいができる地域をつくっていきたい～

人は誰でも助けが必要なときがあります。でも、そのことが人と人の交流を必然とします。私たちは、普段の暮らしの中で「お互いさま」の大切さと心地よさを感じてきました。「支える」ことが実は「支えられている」ことだ、と実感できるような地域を私たちはつくっていきます。

”おおぞら会を支える千人会”にひとくち募金をお願いします！

法人事業を応援するひとりひとりの思いが、大きな輪になります!

ゆうちょ銀行または郵便局からお振込みください…

郵便口座　00160-8-43086　口座名義　おおぞら会後援会

一口 5,000 円　　目標 1,000 人

＊その他寄付金や、つなぎ資金のご提供も受け付けております。下記にお問い合わせください。

おおぞら会後援会　0422－32－3234（アクティビティセンターはばたけ内）

♪地域のページ♪ 現場に直撃！
“この人”に聞きたい！

“あきゅらいず美養品”辻さん・白田さん

住所　三鷹市野崎3-9-27
http://www.akyrise.jp
お問い合わせは・・TEL0422-39-1967（代表）

贅沢な、シンプル
akyrise
あきゅらいず 美養品

今回は“あきゅらいず美養品“さんです。あきゅらいずさんは、スキンケアの商品を主に販売していますが、初めての出会いからてすきはがきのご注文に至るまで、ナチュラルで穏やかなスタッフの皆さんの“笑顔”にとても素敵な魅力を感じました。その“笑顔の秘訣とは！？。今回はお客様窓口の辻さん・白田さんにお話しを伺いました。

自然体の笑顔で♪白田さん（左）と辻さん（右）

“スキンケアのコンセプト”・肌がすっぴん＝心もすっぴん！

――　会社の女性スタッフさんは“すっぴん”の方が多いとお聞きしていますが。

辻さん　「はい、社員はみんな“すっぴん”です！（笑）。スキンケアの会社ですけど、コンセプトは“肌本来の力を取り戻す”ということです。肌と心はつながっていて、肌が気持ちよければ心も軽やかになると考えています。“会社ですっぴんなんて”と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、一歩その常識を離れると、その先には健やかで元気な世界があるんだと思います。ですからキーワードは“自然体”です。私もお客様や地域の方々と、かざらずに自然体で接することができればと思っています。」

――　お客さま窓口としてのお仕事内容などについてお聞かせ頂きますか？

辻さん　「私たちは、お電話を通じてお客さまのご希望を伺っていきます。そしてお客さまが本当に必要だと思う物を考えていきます。お客さまが必要ないと思うものは売らない・お勧めしない、というのが私たちの考え方です。ご相談の内容によっては、私たちがあまりにも売らないので“えっ？”と言われることもあります。ですがお客さまとお話をする中で本当のことを伝えるようにしています。」

白田さん　「商品を売るというよりは私たちの考え方全部を紹介しています。石鹸を売っているだけではなく、私たちの思いや気持ちをお客さまに届けるようにしています。ですから今日は朝〇〇を食べて身体が調子いいんです、といった話なども交えながらお客さまが身体の内側からキレイになってもらいたいと考えています。また思いを届けるといった中で、はばたけさんのハガキを使わせて頂いたことにも感謝しています。」

“美養品”とは。化粧品との違い。 お客さまへの思い。

――　今日初めて会社をお伺いしましたが、緑や木々のインテリアにホッとしますね。化粧品会社とは思えないような雰囲気ですね（一同笑）。

白田さん　「 そうですね。私たちの商品は、一般的に男性がイメージする“化粧品”とは意味が少し違うと思います。**『美を養う＝美養品』**という考え方です。これは人が本来もっている美しさを養うという意味をもっています。そのためには外側からの働きかけだけでは限界があり、食べ物に気をつけたり、水分を摂るようにするなど身体の内側からの要素も大事にしようと考えています。」

――　（途中省略）最後にお客さまや地域の方にお伝えしたいことなどあれば教えてください。

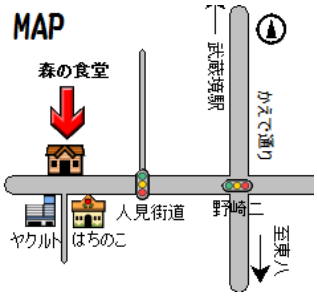
白田さん　「三鷹に移ってまだ間もないですが、三鷹に来れて本当によかったと思っています。森の食堂でも近所の農園の方から野菜を頂くことがありますが、三鷹や地域を大事に思っている方にもよくお会いします。地域の方々との交流など何か一緒にできたらと思っています。」

辻さん　「幾つになってもその人がステキな笑顔を大切にして毎日を過ごしていけたらと思います。歳を重ねていくことを嫌がるのではなく、今の自分を愛していけるように生きていけたらという思いをもっています。お客さまには教えて頂くことがたくさんあります。そして私たちは自然体で健やかで笑顔で暮らしていけるようなお手伝いができたらと思っています。」

☆辻さん・白田さん、貴重なお話の数々
本当にありがとうございました！☆

いちオシ♪

食べることは、生きること。
森の食堂



住所　三鷹市野崎3-21-18
木々で飾られたアートな入口が目印です！

あきゅらいず“森の食堂”三鷹野菜や安心食材のランチが味わえます♪
☆営業時間は‥　11:00～15:00　お越しになる前にお電話頂ければ嬉しいです♪
お問い合わせは‥ 森の食堂事業部　TEL0422－30－9066

１９７７年１２月３日第３種郵便物認可（毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行）２０１０年７月２９日発行ＳＳＫＰ増刊通巻４４９６号はばたけだよりＮＯ．１１１

＊はばたけ利用者のページ＊

奮闘！達成！やったねボーナス☆

あきゅらいず美養品さんからの
てすき注文ができあがりました!

「完成しましたー！」…てすき班に拍手が起こり、ようやく3か月の奮闘が終わりました。前号でもお伝えした、てすき班に舞い込んだ大量のはがき注文。数万枚という桁違いの数に、てすき班だけでなく、はばたけみんなでの大仕事となり、一丸となって取り組みました。そして…果てしなく思えた「その日」がついにやってきたのです！

前号の記事が出てから、「すごいね、がんばって」「牛乳パック、原料に使ってね」といろいろな方から声をかけていただき、協力をいただきました。注文をくれた「あきゅらいず」の社長さんも何度も足を運びんで下さり、みんなに元気をくれました。

そしてそんな周りの言葉に、てすき班のみんなもいつしか仕事に対する誇りや責任が増してきました。

牛乳パックの山が
はがきの山に大変身！

職人たちの
感覚が命です

高い技術を持っていながら、なかなかてすきの漉き作業をしたがらなかったＫさんは、みんながんばっている姿をみて「てすきやるよ」といい、時に残業までして取り組むようになりました。はがきサイズの漉きにあまり自信のなかったＹさんも、「おれもやろうか」と言ってきて、「まだ薄いかな？」と何度もやり直しをしながら、めげずに漉く感覚を掴んでいきました。そして、一番の漉き手Ｓさんは3か月間ほぼ休まず朝と夕の残業をこなしてくれました。

他にも、のんびりＮさんも、撹拌するためのミキサーがけをいつの間にか2台同時に使いこなしてバケツにいっぱいの原料をつくっていたり、みんなの力を再確認するよい機会にもなりました。

＊ボーナス支給日＊

そして7月。あきゅらいずさんに無事納品を済ませ、ストックのなくなったガランとした作業室に感無量！

そして、迎えたはばたけボーナス支給日。これまでのがんばりがボーナスとなって、それぞれの手元に届けられました。

給料支給の際は、職員がひとりひとりのがんばりを伝えながら手渡すのですが、みんな自然と背筋をピンと伸ばし、真剣に聞く姿がみられました。そして思いをかみしめながら、いつもより1ヶ月分多いボーナスを大事そうに受け取る姿は、凛々しくひとまわり大きく感じられました。

あきゅらいず美養品の皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

１９７７年１２月３日第３種郵便物認可（毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行）２０１０年７月２９日発行ＳＳＫＰ増刊通巻４４９６号はばたけだよりＮＯ．１１１

新事業所のお披露目っ！

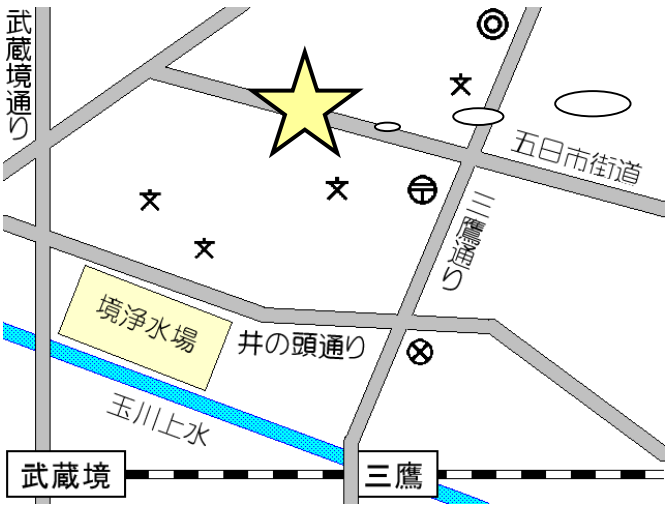
～サポートネットあすは・あすはKids～

おおぞら会５つ目の事業「あすはKids」（児童デイサービス）がいよいよオープン。この度、「サポートネットあすは」の新事務所と共に武蔵野市八幡町に拠点を構え、お披露目会を開催しました。当日は武蔵野市・邑上守正市長をはじめ、多くの方にご来賓いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。また、利用者・ご家族の皆さん、おおぞら会の他事業職員・関係者も集い、あすはに対する期待と法人に求められる役割を確認する場となりました。

武蔵野市　邑上守正市長
ご来賓ありがとうございました！

会の中では、利用者・職員・地域…それぞれの立場から、障がいのある子どもたちの放課後活動の場づくり、障がい者の地域生活を支えるヘルパー派遣事業に対する思いが語られ、それに最大限応えてきたあすはへの評価をいただくとともに、今後についても大きな期待を述べていただきました。式典の後、懇親会では、あすは Kids の活動をスライド上映し、日頃の風景を紹介しました。また、旧サポートネットの立ち上げからご尽力されていた古野様からもお言葉をいただき、地域の理解があってこそ事業を継続していくことができるのだと改めて感じました。最後になりますが、当日ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。

一事業所としての立場に留まらず、幅広い視野を持って地域福祉の充実を目指していくことは、今後の法人運営において重要な課題です。その中で皆さんの後押しが、私たちの大きな力となります。
今後とも、サポートネットあすは・あすは Kids ならびにおおぞら会をよろしくお願いします！



地図と外観

五日市街道　「関前三丁目」バス停
すぐ目の前です！遊びに来てね～

１９７７年１２月３日第３種郵便物認可（毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行）２０１０年７月２９日発行ＳＳＫＰ通巻４４９６号はばたけだよりＮＯ．１１１

＊おおぞら会後援会ニュース＊

風鈴の音に涼を感じる季節となりました。皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、おおぞら会後援会では 5 月 29 日に総会を行いました。恒例となった、はばたけ利用者による“応援ありがとう”の餅つきでスタートした総会では、今後のおおぞら会の事業計画を確認し合い、あらためて思いをひとつにして、今年度の計画案を採択しました。

住んでいる人みんなが笑顔になれる地域をつくりたい…そんなおおぞら会の夢の一歩である、新施設の計画もいよいよスタートします。ぜひ、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

おおぞら会後援会
会長　吉野　壽夫

ご入会･ご更新の御礼

２０１０年度　後援会にご入会・ご更新ありがとうございました（～７／１３　敬称略）

≪個人≫

個人２３７名の方からご入会・ご更新をいただきました。

ありがとうございました。

≪団体≫

国立厨房サービス　資料マイクロ株式会社　瑞法寺

＊後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします＊

年会費　1口　個人…２０００円　　団体…１００００円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください

郵便口座 00160-0-39163　　口座名義　**社会福祉法人おおぞら会後援会**

お詫び…前号にて、後援会総会の日にちを間違えてご案内してしまい、大変ご迷惑をおかけいたしました。
あらためてお詫び申し上げます。

活動日誌　　４月１日（木）～６月３０日（水）まで

4 月	1(木)	出発式	6 月	3(木)	事業のあり方検討会議
	23(金)	「理念を語る会」		6(日)	あすは「お披露目の会」
		「資金を豊かにする会」			スペースはちのこ祭り(ており)
	24(土)	菓子フェス(販売)		16(水)	嘱託医健診　健康ミニ講座
	30(金)	自治会		25(金)	自治会
	職員会議	9(金) 23(金)			「理念を語る会」
5 月	7(金)	きょうされん東京支部大会			「資金を豊かにする会」
		(ルーキーズ演奏)		30(水)	防災訓練
	12(水)	後援会運営委員会		職員会議	11(金) 25(金)
	16(日)	こどもまつり(販売、ルーキーズ)			
	21(金)	スプリングハイク(昭和記念公園)			
	28(金)	自治会			
		「理念を語る会」			
		「資金を豊かにする会」			
	29(土)	理事会･評議員会			
		後援会総会			
	職員会議	14(金) 28(金)			

◎来訪された方々（６月３０日現在）

TKC･櫻井様　ミュージックボランティア協会･櫻井様　健康センター･笠原様　白百合大学様
とも企画設計･臼井様　つばさ訪問看護ステーション様　小川クリニック･小川様　SECエレベータ様
東京ライフサービス様　鴨下様　小金井市役所様　東京三鷹ライオンズクラブ様　資料マイクロ様
シルバー人材センター様　府中朝日特別支援学校様　三鷹市役所様　三菱東京UFJ銀行･秋山様
巣立ち会･田尾様　あきゅらいず美養品様　フランフル･荒井様　三鷹大沢消防署様　田村様
東京電工様　国立厨房様　ライフコミューン様　株式会社タス･伊藤様　飯島意匠様　吉野様

◎実習生の方々（社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習）

ルーテル学院大学･宮地様　東京福祉大学･坂本様　府中朝日特別支援学校･米谷様

◎ボランティアの方々(いつもありがとうございます)　福本様　岩田様　野口様

～　施設長の　ひとりごと　～

7 月 14 日に東京都から施設整備費補助の内示を受けることができた。

これでいよいよ新たな拠点の建設が現実となった。そして、私たちのめざす「新たなタイプの地域密着型事業」の第 1 歩を踏み出すことができる。土地を提供してくださる武蔵野建設工業株式会社　松井様をはじめ、私たちの試みにご理解くださった野崎町会やご近所のみなさま、三鷹市長をはじめとした行政の方たち、三鷹市議会のみなさま、そして丁寧に協議をすすめてくれた東京都職員の方たちにまずは感謝申し上げたい。

ところで、何が「新たなタイプ」かと言えば、同じ建物のなかで「障がい者の働く場」と「高齢者の在宅生活支援」を一緒に行なうことだ。平たく言えば、支援を必要とする人たちへの支援と同時に、支援を必要としている人たち同士の支えあいを行なっていく。そして、障がいのある仲間たちのいきいきと働く姿とおじいちゃんおばあちゃんたちの素敵な笑顔が見られる場にするのが目標だ。

実は、こうした子どもも障がい者もお年寄りも同じ場所で過ごす「共生型」事業はすでに全国、とりわけ地方で取り組みがすすんでいて、私たちのお手本はあちこちにできている。はじめ、こんなことができればいいなと思って構想を練りながら、いろいろ調べていくと「なんだもうやっているじゃん」といったふうだった。すばらしい取り組みをしているところは、どこも「利用者を選ばない」。言うのは簡単だが、どれだけ事業所の都合ではなく、利用者の事情を優先できるか。相当じたばた、七転八倒すると思うが、「(支援の大変な人でも) あそこにお願いすれば安心よね」と言ってもらえる事業所になればいいねと話し合っている。

自然とご近所の人たちが立ち寄ってくれるような場所をめざしている。どうか、みなさん力を貸してください。(みうら　あきお)

１９７７年１２月３日第３種郵便物認可（毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行）２０１０年７月２９日発行ＳＳＫＰ増刊通巻４４９６号はばたけだよりＮＯ．１１１

information

まだまだ“大”募集中！

バザー品の提供をお願いします！

衣料品・日用雑貨・贈答品・コミック本など
いずれも新品か新品同様のものを回収いたします。

☆回収できないもの☆
電化製品・家具・ふとん・人形・書籍（百科事典などを含む）
使用済みスポーツ用品・使用済み食器など･･･
☆その他、シミ・カビ・キズ・汚れのひどい商品は回収できませんので、ご了承下さい

☆市内 へは回収にお伺いします！☆

お気軽に
お電話ください！

TEL 0422-32-3234（電話受付は平日9時~17時です！）

バザー開催日時決定！

9月26日（日）

場所：三鷹市第二中学校・体育館

12:00～15:00

★ 詳細は はばたけまでお問い合わせください ★

社会福祉法人おおぞら会

・ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨｾﾝﾀｰはばたけ（知的障害者授産施設[通所]） 三鷹市野崎 3-17-9 tel 0422-32-3234
・サポートネットあすは（移動支援[居宅介護]事業）（日中一時支援事業） 武蔵野市八幡町 1-6-1
・ショートステイさくら（短期入所事業） tel 0422-36-5151
・つなぐなかまの家・さくらハイツ（グループホーム・ケアホーム事業）

http://habatake.jp

[編集後記] 大河ドラマ「竜馬伝」が佳境に入る中、司馬遼太郎の「翔ぶが如く」を読んだ。これは竜馬以降の明治新政府の内紛と西南戦争までの経過を描いた作品だ。登場人物が多い上に巻数も多い長編物だったが、登場人物の人柄やその歴史的背景、時代背景の記述に圧倒された。維新後の冷めやらぬ空気感と大久保・西郷らのにじむ汗や嘆息がページをめくる度に聞こえてくるようだった。（うらべ）

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21
企画･編集 ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨｾﾝﾀｰはばたけ 編集責任者 三浦明雄 編集委員長 入倉暁子 編集委員 卜部禎生 中野昭精 〔頒価 50 円〕

社会福祉法人おおぞら会　資金収支計算書

（自）平成２１年４月１日　（至）平成２２年３月３１日

単位：千円

勘定科目			社会福祉事業		
			合　計	適用会計処理方法	
				授産会計基準	会計基準
経常収支活動		経常活動収入（1）	160,513千円	84,075千円	76,438千円
		経常活動支出（2）	155,803千円	77,245千円	78,558千円
	経常活動収支差額 (3)=(1)-(2)		4,710千円	6,830千円	▲2,120千円
事業収支授産活動		就労支援事業収入（4）	4,707千円	4,707千円	0千円
		就労支援事業支出（5）	4,858千円	4,858千円	0千円
	就労支援事業活動収支差額 (6)=(4)-(5)		▲151千円	▲151千円	0千円
施設整備等収支		施設整備等収入（7）	21,660千円	0千円	21,660千円
		施設整備等支出（8）	41,070千円	9,955千円	31,115千円
	施設整備等収支差額 (9)=(7)-(8)		▲19,410千円	▲9,955千円	▲9,455千円
財務収支活動		財務活動収入計（10）	23,500千円	13,500千円	10,000千円
		財務活動支出計（11）	3,513千円	3,500千円	13千円
	財務活動収支差額 (12)=(10)-(11)		19,987千円	10,000千円	9,987千円
予備費（13）			0千円	0千円	0千円
当期資金収支差額合計 (14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)			5,136千円	6,724千円	▲1,588千円
前期末支払資金残高（15）			49,619千円	39,282千円	10,337千円
当期末支払資金残高（14)+(15)			54,755千円	46,006千円	8,749千円

社会福祉法人おおぞら会　事業活動収支計算書

（自）平成２１年４月１日　（至）平成２２年３月３１日

単位：千円

勘定科目			社会福祉事業		
			社会福祉事業計	適用会計処理方法	
				授産会計基準	会計基準
事業収支活動		事業活動収入（1）	167,433千円	91,056千円	76,377千円
		事業活動支出（2）	163,561千円	84,545千円	79,016千円
	事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)		3,872千円	6,511千円	▲2,639千円
事業収支活動外		事業活動外収入（4）	2,877千円	772千円	2,105千円
		事業活動外支出（5）	2,794千円	694千円	2,100千円
	事業活動外収支差額 (6)=(4)-(5)		83千円	78千円	5千円
経常収支差額（7)=(3)+(6)			3,955千円	6,589千円	▲2,634千円
事業収支授産活動		就労支援事業収入（8）	4,707千円	4,707千円	千円
		就労支援事業支出（9）	4,834千円	4,834千円	千円
	就労支援事業活動収支差額 (10)=(8)-(9)		▲127千円	▲127千円	0千円
特別収支		特別収入（11）	21,660千円	千円	21,660千円
		特別支出（12）	21,351千円	11千円	21,340千円
	特別収支差額 (13)=(11)-(12)		309千円	▲11千円	320千円
税引前当期活動収支差額 (14)=(7)+(10)+(13)			4,137千円	6,451千円	▲2,314千円
法人税、住民税及び事業税負担額 (15)			0千円		
当期活動収支差額 (16)=(14)-(15)			4,137千円	6,451千円	▲2,314千円
繰越活動収支		前期繰越活動収支差額（17）	51,145千円	34,555千円	16,590千円
		当期末繰越活動収支差額 (18)=(16)+(17)	55,282千円	41,006千円	14,276千円
		基本金取崩額（19）	0千円		
		基本金組入額（20）	0千円		
		その他の積立金取崩額（21）	10,000千円	10,000千円	
		その他の積立金積立額（22）	0千円		
		次期繰越活動収支差額 (23)=(18)+(19)-(20)+(21)-(22)	65,282千円	51,006千円	14,276千円

1977年12月3日第3種郵便物認可(毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行)2010年7月29日発行SSKP増刊通巻4496号はばたけだより NO. 111

社会福祉法人おおぞら会　貸借対照表

平成２２年３月３１日現在

単位：千円

勘定科目	社会福祉事業		
	社会福祉事業計	適用会計処理方法	
		授産施設会計基準	会計基準
資産の部			
流動資産	137,923千円	56,697千円	81,226千円
固定資産	195,219千円	135,813千円	59,406千円
（基本財産）	100,160千円	100,160千円	0千円
（その他の固定資産）	95,059千円	35,653千円	59,406千円
資産の部合計	333,142千円	192,510千円	140,632千円
負債の部			
流動負債	82,575千円	10,099千円	72,476千円
固定負債	38,000千円	28,000千円	10,000千円
負債の部合計	120,575千円	38,099千円	82,476千円
純資産（資本）の部			
基本金	35,476千円	35,476千円	0千円
資本金	0千円	0千円	0千円
国庫補助金等特別積立金	92,967千円	49,089千円	43,878千円
その他の積立金	18,840千円	18,840千円	0千円
次期繰越活動収支差額	65,282千円	51,007千円	14,275千円
（うち当期活動収支差額）	4,138千円	6,452千円	▲2,314千円
純資産（資本）の部合計	212,565千円	154,412千円	58,153千円
負債及び純資産の部合計	333,140千円	192,511千円	140,629千円